

運河と天王洲アイランド

5月26日（金） 晴れときどき曇り

- ★ 23日の予定が、雨のため26日に延期となったので、常連の方で参加できない人が多かったが、初参加の北嶋千鶴子さん、中村光毅さんを含めて12人が参加して、いつも通りの賑やかな散策となった。
- ★ 高田馬場駅発13時2分、品川駅着13時26分。品川駅の広くて長いコンコースを歩いて港南口に出た。プリンスホテルなどのある古い街の高輪口と違い、高層ビルの立ち並ぶビジネス街である。駅前ロータリーから右（南）へ進むと、幅約45m、長さ約400mの遊歩道・品川セントラルガーデンである。左（東側）には品川インターシティーのA、B、C棟、右（東側）にはストリングホテル東京インターコンチネンタル、太陽生命、キャノンなどのビルが立ち並んでいる。遊歩道にはビル風を緩和するために高い樹木が植えられ、所々にオブジェが展示されている。大変気持ちのよいスペースで、多くのビジネスマンの憩いの場所でもあるようだ。18年前に次男がここのホテルで結婚式を挙げたが、その頃とはすっかり様子が変わっていて、初めて来たような感覚である。



品川セントラルガーデン



左側 品川インターシティー



右側 ホテルなど

- ★ セントラルガーデンを抜け、都バスの品川車庫前を過ぎると直ぐ八ツ山通りで、左折して100mほど行くと北品川橋がある。ここは運河の最奥部で、屋形船平井の乗船場をはじめ釣り船や屋形船などの船宿が並んでいる。



北品川橋（大正14年竣工）



屋形船が並ぶ



怪獣のいる船宿

- ★ 船宿の立ち並ぶ道を300mほど行くと海岸通りという広い道に出た。ここを左折して天王洲橋を渡ると、橋の北詰にあるビルの手前に細い道があって、水辺に降りることが出来た。そこ

は天王洲運河と高浜運河の交差する十字路で、視界いっぱいに広々とした運河と対岸のビル群を眺めることが出来た。高浜運河に架かる楽水橋を渡ると運河沿いの港南公園である。ここで小休止したあと、天王洲ふれあい橋を渡り天王洲アイルに上陸した。運河沿いに広いウッドデッキがあり、海からの汐風を浴びながらの散策は気持ち良い。デッキの右手にはビアガーデンやカフェやレストランが並んでいて、ちょっとしたリゾート気分が味わえる。



天王洲橋から天王洲アイル方面を見る

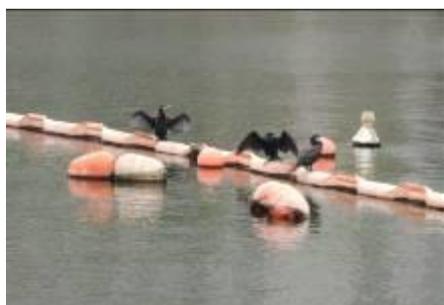


港南公園



天王洲アイルのウッドデッキ

★ 天王洲大橋の手前で大通りに出ると、頭上には首都高速道路と東京モノレールが走っている。モノレールとりんかい線の天王洲駅を過ぎ、天王洲公園の野球場の先の細い道を入ると東品川海上公園である。天王洲南運河の両岸にあって、アイル橋で繋がっている。北側には滑り台やボードウォークがあり、南側には噴水広場やうさぎのミッフィーの姿を表した花壇や遊具がある。ここは目黒川が運河に注ぎ込む河口で、ボラらしい魚影が見えたり、ブイの上で鵜が羽を休めていたり、千鳥がちよこちよこと歩いていたりしている。



羽を休める鵜



ミッフィー花壇



ミッフィーの顔に見えるかな？

★ ここから数km先には羽田空港があり、着陸コースになっているので、上空を飛行機がほぼ2・3分おきに飛んでゆく。公園を出るとすぐ海岸通りと八ツ山通りを横断する。八ツ山通りの新品川橋交差点で信号待ちをしていると、突如「こんにちは！」という大きな声があったので一同びっくりしたが、元気な女の子の声であった。大勢が歩道を塞いでいて邪魔だったので「どいてください」と言う代わりに「こんにちわ！」と言ったのではないかという気もするが、とにかく明るくて元気な女の子で、手を振りながら笑顔で去って行った。



アイル橋



キャノン本社と三信倉庫の壁画



羽田に向かう飛行機

★ 新品川橋の上流 100mに架かる品川橋は旧東海道の橋である。品川方面に少し行き、山手通りを越えた所に旧東海道、品川宿の本陣があった。明治元年の明治天皇東幸の際に行在所となったために「聖蹟公園」という名が付いている。



品川宿本陣跡の碑



明治天皇行在所の碑



旧東海道

★ 旧東海道から北番場参道通りに入り 300mほど行き、京浜急行の高架下を抜けると第一京浜国道で、横断歩道を渡るとそこに品川神社がある。源頼朝が安房国の洲崎明神を招請したのが始まりと伝えられる古い神社である。柱に龍が巻き付いた鳥居を潜り、急な石段を登ると正面に鮮やかな朱色の本殿、右手に舞殿がある。



品川神社の双龍鳥居と石段



本殿



舞殿

★ 本殿の裏にまわると板垣退助の墓がある。「邦光院殿賢徳道圓大居士」と大書された墓碑の横に、佐藤栄作が揮毫した「板垣死すとも自由は死せず」の銘板と説明板があるだけである。元は品川東海寺の塔頭・高源院の境内であったが、関東大震災後に同寺が世田谷に移転して、墓だけが残り、品川神社の境内を通らないと行けないことになってしまった。



板垣退助の墓



板垣退助の名言



説明板

★ 石段の左手に高さ約 15mの富士塚（品川富士）がある。都内最大の富士塚である。大きな石を積んだもので、登山道は狭くて急なので、登りはなんともなかったが、下りは怖かった。



左 富士登山口 右 山頂からの眺め ⇒



港南公園にて



品川富士山頂にて

今回は2人の俳人から俳句を頂きました。

夏に入る アイルの水面 輝きて

よじ登る 品川富士に 鯉のぼり

梅雨曇 品川浦は ビルの谷

薰風や 運河を渡る また運河

退助墓 酒にビールに 自由かな

金子正男

桑田青三

馬道さんの写真報告書を別送します。本文と合わせてお楽しみください。

参加者 馬道 哲、緒方 章、金子正男、北嶋千鶴子、桑田制三、小島恕雄夫妻、
中島克三、中村光毅、水野邦子、臼井静江、中村仁美、 以上12名